

令和6年4月16日（火） 《 寒風台小学校校長室から No. 1 》

令和6年度入学式を終えて 「ローマは一日にして成らず」

先週は、10日（水）に第53回松戸市立寒風台小学校入学式がありました。前日は、台風のような雨風で、桜もすべて散ってしまうほどの強風でした。

当日は、雲一つない晴天で、裏門の桜も前日大量に散ってしまったのにもかかわらず、ほぼ満開の状態です。1年生を迎えていました。桜の入学式も久しぶりでした。近年は、3月中に咲いて散ってしまうことが多かったのですから。

受付時間の前から、正門や裏門の前で記念撮影をされている親子連れの行列の姿が見られました。みんな笑顔がほころんで、本当にうれしそうな顔で登校してきました。おめでとうございます。いよいよ小学校生活のスタートですね。

入学式そのものは、10分位の短いものでした。1年生の集中力にはちょうど良い時間でした。体育館で集合写真を撮り、お家の方と帰って行きました。気候も暖かく、校庭のあちこちで写真を撮られているようで、最後に校門を出られた方は、正午を回っていました。その後もご家族でお昼を食べに行かれたりして、幸せな時間であったことでしょう。



今年の1年生は、115名の4クラスでした。その内訳は、新たに学区外から選択制で入られた方が9名、兄弟が在籍していて申し立てで学区外から入られた方が8名いました。合計17名の方は、学区外からの登校となります。学区内の方は98名です。学区内の方だけですと3クラスになります。3クラスと4クラスのボーダーは、35名×3クラスの105名です。これを超えたのは、学校選択制で学区外の方の入学があったからと言えます。

昨年度も1年生は多く126名で4クラスでした。この2年間、寒風台小学校は、学区の就学者名簿よりも実際の入学者が多いという結果になっています。児童数もこの2年間で80名程増え、620名となりました。

寒風台小学校は、今までは校地も狭く、取り立てて特色もなく、新入生の流出数が多くて選ばれなかった学校でした。今は逆に、学区外から新入生が流入してくる選ばれる学校へと変わっていています。この2年間、教育課程・通知票2期制・運動公園の活用・学校評価・PTAなどの様々な改革や、むかって学びプロジェクト（音読大賞・かけ算大賞）、からだをきたえプロジェクト（松戸市特級体力章）や部活動などでの子どもたちの活躍ぶり、教職員・保護者・地域の皆様の最大限のご協力などが、この人気を牽引しています。より楽しい学校へ変貌を遂げようとしています。

『Rome wasn't built in a day』・・・大事業を完成させるには、不断の努力が大切であるという例え。スペインの作家セルバンテスの「ドン・キホーテ」にある言葉。

話は早いですが、来年度は、学区の就学者名簿は80名と少数です。今のままだと3クラスになりそうですね。逆に71人以下だと2クラスになります。